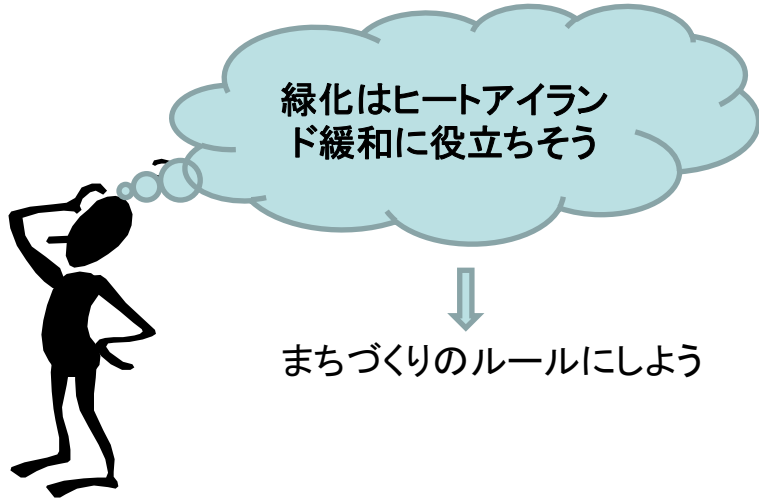


- 都市の表面温度分布, ヒートアイランド負荷の把握
- ヒートアイランド緩和技術を適用した際の効果を評価



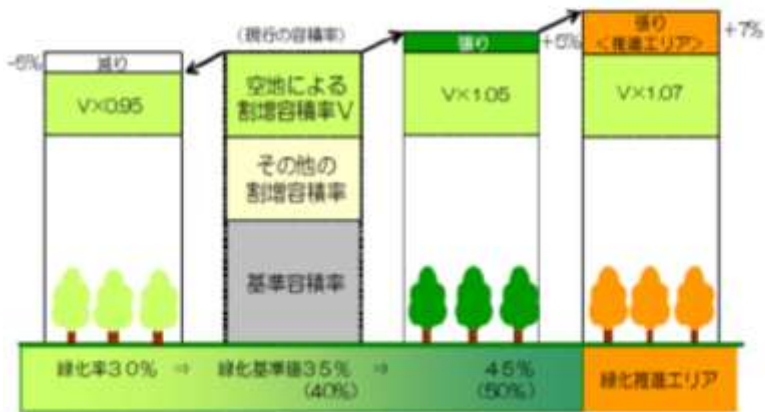
緑化はヒートアイランド緩和に役立ちそう

まちづくりのルールにしよう

③ 「緑化推進エリア」の設定と「割増容積率」の増加

「緑化推進エリア」においては、特に緑化を促進するため割増容積率を最大7%まで増加させます。

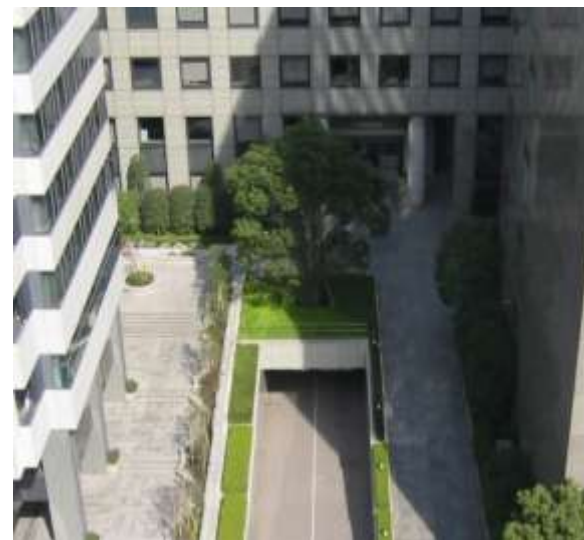
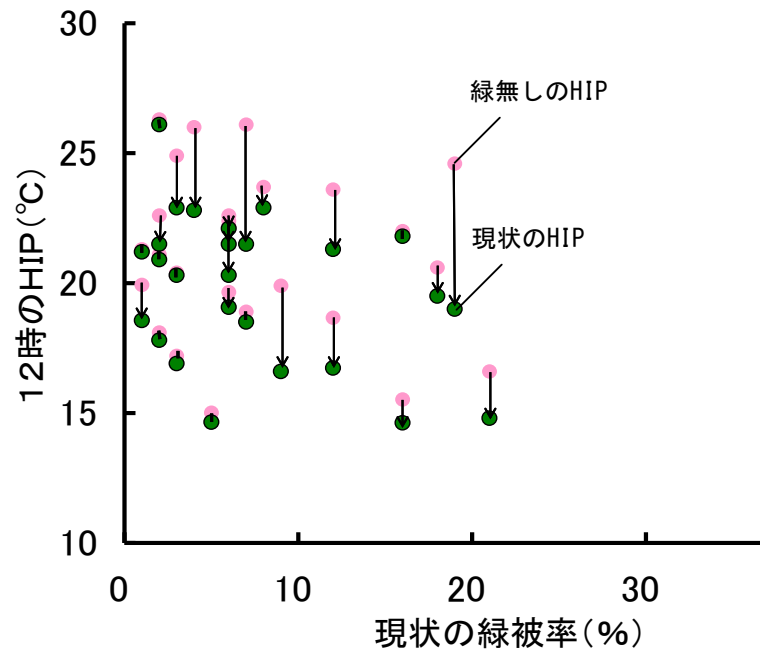
- 「環境軸周辺」緑化推進エリア
- 「ヒートアイランド対策」緑化推進エリア



「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針の改訂について(概要)」

http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/seisaku/new_ctiy/index.html
(2012.09.01参照)

緑被率とヒートアイランド負荷の関係



役に立つ場所と立たない場所がある

- 場所，地域によって技術が効果を発揮する度合いは異なる。実在の都市農村空間を対象に実証実験を重ねていく必要がある。
- 南北に広がった地域を有するわが国では，気候をはじめとする環境条件が地域によって大きく異なる。開発技術の適用可能性についての十分な検証が必要がある。
- 技術が十分な効果を発揮するためには，利用者の特性等の条件も大きく影響する。ケーススタディにおいては，環境条件や社会条件を精査し，他地域への適用可能性を議論する必要がある。